

命を大切に

校長 三浦一富

平成29年度の教育活動がスタートしました。4月6日(木)の始業式、私は子どもたちにシンプルなメッセージを伝えました。

「命を大切に」

春休み中も、事故の報告はありませんでした。保護者、地域の皆さんの声掛けとまなざしのお陰と、感謝しています。そのような中、小木行政サービスセンターの庁舎



建設工事に伴い、通学路の安全確保に関わる問題が上がってきました。工事用フェンスが横断歩道に被さる形で大きく張り出しているため、安全な横断ができないという状況です。

学校も現場を確認した上で、行政サービスセンター、市建設課、教育委員会、警察等、関係機関との連携のもと対応を相談しました。その結果、この横断歩道を渡っていた子ども6人への安全配慮として、①登下校時、誘導員が立ち横断の手助けをしてくれること、②横断場所の変更に伴う横断用補助線の敷設(予定)など、具体的に対応していただくことになりました。

「自分の命は、自分で守る」—子どもたちがこの自覚をもつことは必要です。その上で、大人が知恵を出してできることは、しっかりと考えていく。そのための連携体制を、これからも維持していきたいと思えます。子どもたちの安全確保に向け、何かお気づきのことがありましたら、子どもたちにその場で、直接声を掛けていただくことはもちろんのこと、学校にもお知らせいただければ幸いです。



今年度も小木小学校の教育活動に対する、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

← さくら広場で鬼ごっこをして遊ぶ
1年生と6年生。